



2018年11月13日

各 位

上 場 会 社 名 **株式会社サニックス**  
 代表者役職氏名 代表取締役社長 宗 政 寛  
 (コード番号4651 東証一部・福証)  
 問 い 合 せ 先 取締役常務執行役員  
 企画本部長 兼 管理本部長  
 兼 経営企画部長 井 上 公 三  
 TEL 092-436-8882

### 第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2018年5月14日に公表の2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、前回公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年3月期 第2四半期累計期間 (2018年4月1日～2018年9月30日) 連結業績予想との差異

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	24,315	868	818	643	13.45 円
第 2 四 半 期 累 計 期 間 実 績 ( B )	24,447	688	689	194	4.06 円
増 減 額 ( B - A )	132	△179	△128	△448	—
増 減 率 ( % )	0.5	△20.7	△15.7	△69.8	—
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 実 績	24,162	138	△29	△155	△3.25 円

#### 2. 2019年3月期 通期 (2018年4月1日～2019年3月31日) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	50,000	2,190	2,100	1,610	33.68 円
今 回 修 正 予 想 ( B )	49,434	1,338	1,290	534	11.19 円
増 減 額 ( B - A )	△565	△851	△809	△1,075	—
増 減 率 ( % )	△1.1	△38.9	△38.6	△66.8	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2018 年 3 月 期)	49,993	1,246	1,019	1,180	24.68 円

#### 3. 第2四半期累計期間連結業績予想との差異の理由

当社グループの苫小牧発電所は、2018年9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震の影響により発電を停止しました(同日付けで「北海道胆振地方中東部の地震による当社グループへの影響に関するお知

らせ」を開示済み)。

第2四半期累計期間における業績は、売上高については、苫小牧発電所が停止したことにより売電収入が減少し、利益については、売電収入が減少したことや固定費等の負担があったことを主因に、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。また、本日別途開示しております「平成30年北海道胆振東部地震に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、第2四半期累計期間において被災した設備に係る原状回復費見込額377百万円を災害による損失として特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回りました。

#### 4. 通期連結業績予想修正の理由

通期業績につきましては、苫小牧発電所の早期再稼働に向けて鋭意努力してまいりますが、運転再開時期は2019年3月初旬頃を見込む(2018年11月5日付けで「北海道胆振東部の地震による当社グループへの影響に関するお知らせ(第2報)」を開示済み)ことから、同発電所の停止期間中において売電収入を見込めない状況であります。

売上高につきましては、これらの状況を踏まえ、通期予想を上記のとおり修正いたします。

利益につきましては、売上高が前回予想を下回ることや固定費等の負担があることから、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みであります。また、苫小牧発電所の原状回復費用を災害による損失として特別損失に計上するため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回る見通しであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上